

人といふ見くも又之州より下治たきつ（を）
——る。此状あれたお智くも意味もなされ
を略も又中野郡小女川（を）——る状あり
被郡の下に注ぎ下氏の書状と小女川氏（
の状と吹浦村孫たきつ）取よ傳（くも）年付と
同筆と

羽源記又し書末より文禄三年甲午之好
関白秀次公要州陣之砌菊郡九戸（堀久
左衛門政入附大目刑部少輔石田治部少輔
吹浦と榮向あり）其砌上校系勝名代として

直江山城守為續以下格引の山語は長陣
——て高坂為清川親高寺以下庄田十五
箇の一様を格め上校系勝の領田と成と云々
庄田惣領曰天正十九年辛卯七月要州九戸
城より九戸強理方更政実送んを格引之なる
七戸産之并久慈中勢大隅にたきつホカ
を合と秀吉の下知は陸いさるによりて之好
中細玄秀次江戸大細玄の先陣井伊直政
其外堀尾伊直ホの徳信九戸より格とあふ
苗田利家上校系勝ハ誠後勢を庄田より